

「主は、すべてのわざわいから、あなたを守り、 あなたのいのちを守られる。」

(詩篇 121:7)

チア・コンベンション、今年も神さまのあわれみと恵みの中で、励ましとチャレンジの時を過ごすことができました。皆様のご参加とお祈り、感謝します！（参加者は、約740名。1日参加の方も含めて、大阪会場約290名、東京会場約450名の皆さんが参加くださいました。）その後、事務局に届き続ける、参加者の皆さんからの声に励まされつつ、サマーキャンプの準備に向かっています。第4回チア・オリンピックの会場も9月15日（祝）が与えられました。一步、一步、着実な成長を期しての歩みです。皆さんに、ますますの祝福がありますように、心から祈ります。



コンベンション、楽しい！ — 大阪会場・遊園電車より

やり直せるなら、この3つをしたい！

今回、基調講演は、ストーリー夫妻の妻、カレンさんから、スタート。1985年にホームスクーリングに導かれ、当時、全米各地で行われたように、教育委員会に訴えられました。裁判所での闘いと

並行してのホームスクーリング。そうした苦闘を経ても、4人の子どものうち、長女が信仰に背を向ける展開を経験します。その中で教えられたことは、「問題」に目を向けがちな自分が、「神さまと聖書の約束」に目を向け続けることに導かれた

ことを話してくれました。Q&Aの時間、私は「もう一度、ホームスクーリングをやり直すならば気をつきたい3つのポイントは？」と、質問をしました。以下が答えでした。

第1は、決して神さまから目を離さないこと。ホームスクーリングをしていると、子どもにばかり目が行ってしまいが、焦点は子どもではない。

第2は、私が神さまと持っている関係を子どもたちに見せて、「うらやましい、自分もあんな関係を持



友達と、お腹の底から笑いました！ — 東京会場



ジム＆カレン ストバー夫妻 — 日本の歴史を愛する夫妻。大阪講演の後、念願の広島平和記念公園を訪ねました

ちたい」と思われるような模範となりたい。

第3は、勉強の課題をやり終えてしまうことに焦点を当てるのではなく、教えている私と子どもが親しい関係を築けるよう焦点を当てたい。

その話しを、ステージ脇で聞いていたジムさんが1つ追加しました。「神さまの恵みを低く見積もらないこと。」

約30年の悔い改めと発見の道を歩んだ2人の先達の言葉に、ヘブル書12章2節の「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい」や、「親の模範」という原点を再確認させられ、祈らされる思いでした。

ちなみに、4人の中で1人、別の道を歩んだ長女のレーチェルさんも、近年は、親子関係の回復が一步一步進み、あきらめないで努力を重ねている状況とのことで、祈りたいと思いました。

歴史は、神さまによって、 書き換えられる！

ジムさんは、続けました。「キリストにあって、歴史は書き換えられます。我が家の呪いともいえることは、祖父の代までは、奴隷を持ち、人種差別の罪が巢食っていたことです。熱心なクリスチャン家族ではあったにも関わらず。しかし、神さまは、そんな私たちに、アフリカ系アメリカ人の子どもたち、3人を養子するように導かれました。その結果、親・兄弟からは絶縁され、人間関係を失いました。兄家族とは、今も関係がぎくしゃくしています。でも、神さまは、父が天に召される1年前、和解の時をもたらしました。父の最期

を看取り、最期の会話を交わしたのは、私の妻です。母の最期を看取ったのも、私の妻です。キリストにあって、歴史は書き換えられるのです」

実行

150年前ならまだしも、つい40－50年ほど前まで続いていた、アメリカの人種差別については、ピンと来ないところがあるかもしれません。1年前、「42 — 世界を変えた男」という実話ベースの映画がヒットし、日本でも封切られました。大リーグの全選手が、大リーグ初のアフリカ系アメリカ人選手、ジャッキー・ロビンソン選手の栄誉を称え、彼の背番号の42をつけて公式戦を戦う記念日が、毎年あります。その、ロビンソン選手の実話ベースの映画です。

背番号42を全員がつける日、僕は一度、ドジャースで取材をしたことがあります。最初は、その意味がよくわかりませんでした。クリスチャンであったロビンソン選手は、戦後の10年間、敵チームのみならず、味方チームからの差別とも闘い、クリスチャンのGMからは、「やり返さない勇気を持って」と、聖書からさとされ、60年続いていた大リーグの人種差別方針を変えていきます。映画で様々な差別が描かれますが、それは、たとえば、「アメイジング・グレイス」とかの遠い遠い昔のことではなく、つい半世紀前までは、アメリカの日常でした。

ジムさんが講演を終えた後、ピリポさん（前・明泉学園理事長）がジムさんに近づき、肩をたたき、ハグして、感動を伝えていました。

「ジムさんは、すごいことを実行したんだよ。私が若い時代、住んでる町には、アフリカ系アメリカ人は、誰ひとり、いなかった。住ませなかったんだ。それで、アフリカ系アメリカ人の人たちと、会話を交わしたことが一度も無かったんだ。一度も。その後、どこかで出会っても、経験が無かったので、どう話したらいいのか、まったくわからなかった。そのような状況が、普通と思われていた時代だった。特に南部育ちのジムさんが、3人、アフリカ系のアメリカ人の子どもたちを養子し、親・兄弟から絶縁されても、神さまからの召しに立って、ホームスクーリングを実行した。これは、本当にすごいこと。何か、勉強して良いメッセージを語ったというのではなく、彼らは実行した！ この事実が、素晴らしい！ それで、私は感動を伝えたのです」

オバデヤの時代の終焉と エリヤの時代の幕開け

ジムさんは、40余りの講演タイトルを持っていました。講演内容を決める時、私は、「基調講演は、今、自分が一番、伝えたい!と思うことを話してほしい」と伝えました。「これを話したい!」と言ってきたのが「オバデヤ時代の終焉とエリヤの時代の幕開け」。それで、そのテーマで話してもらいました。「人を恐れず、神を恐れて伝道するクリスチャン」ということは、チア発足以来、14年、ずっと示されてきたことでした。以下、基調講演の要約です。

「オバデヤは、神を信じ、異教の王に重用されていました。聖書的な預言者を抹殺する指令が出された時、密かに100人あまりの預言者の命を救った、良き信者でした。でも、オバデヤは、異教社会の中で、人を恐れるクリスチャンで、生ぬるく、信仰を隠す行動で社会的な地位を保っていました。そこへ、預言者エリヤが神からの預言を持って立ち上がり、オバデヤと王の前に登場します。この時、オバデヤは、強力な預言者の登場を喜ぶべきでした。しかし、オバデヤは、堂々と神の御ことばをもって現れたエリヤに対して、怒りました。神よりも、王や周囲の人々を恐れたからです。「私がどんな罪を犯したというので、あなたはこのしもべをアハブの手に渡し、私を殺そうとされるのですか」(1列王記 18:9)

私たちが、ホームスクーラーとして立ち上がる時、オバデヤが怒ったように、教会や他のクリスチャンたちから、怒りを買うかもしれません。そこで、生ぬるく、人を恐れるホームスクーラーであってはなりません。たとえ周囲の目や反応は厳しくても、私たち自身が、オバデヤ的な、人を恐れるクリスチャンから脱却し、エリヤのごとく、正々堂々、主を恐れ、大胆に証し、神の福音を宣べ伝えるホームスクーラーとして立ち上がる時が来ています。

アメリカのホームスクーラーは、最初、クリスチャンから批判されました。そして、隠れてホームスクーリングをすることで始まりました。しかし今、約300万人から約500万人へと成長し、アメリカの子どもの12人に1人はホームスクーラーと急増しています。学業でも、人格でも、その良さが全米で広く認知される時代となっています。

私の仕事(受験生のリクルーター)において、ハーバードやプリンストン、スタンフォード、あるいはクリスチャン系のウィートン大ほか、アメリカ



まろやかで平安な時 —大阪コンベンションにて

の難関大学は、競って、ホームスクーラーを入学させようとしています。難関大学は、ホームスクーラーが素晴らしいクリスチャンだから入れたいのではなく、学業、人格、モラル、勤勉性、そして、就職後の優秀さ等、実力の違いを、はっきりと認識し、それぞれの大学の評価をあげる結果になることを知っているのです。ホームスクーラーがまさにアメリカを変える時代が来ています。日本でも同様です。今は、我が家がホームスクーリングを始めた『アメリカの80年代、90年代初頭』の状況に近く、周りの状況は厳しいと感じました。でも、ごくごく近い将来、ホームスクーラーの子どもたちと、学校に任せられた子どもたちとの違いが、はっきりと出てくる時代が来るでしょう。

今、アメリカでも、日本でも、ホームスクーラーたちは、オバデヤからエリヤに変わり、社会に福音を伝えていくクリスチャンを育てなければならぬ、オバデヤのようであってはならないと私は示されています。オバデヤのように、人を恐れる、生ぬるいクリスチャンではなく、エリヤのごとく、神を恐れて、社会に出て、神の福音を伝えていく、そのような子育てが、今、必要なのではないのでしょうか。」

ティーン・20代も、親が霊的な責任者

さらに、ジムさんは、アメリカのホームスクーラーたちの失敗として、以下の点を指摘し、大事な点と思いました。

「アメリカのホームスクーラーたちの失敗は、子どもたちを早く大学に送りすぎたことです。ホームスクーラーたちは、センター試験(SAT)の成績が、平均点より20%ほども良く、また、学業のスピードも速く、飛び級させていきました。ホームスクー



チルミ二賛美・大阪 — チアHP で視聴できます

ラー卒で、16歳、17歳で大学生という事例はめずらしくありません。しかし、これが失敗の結果につながっているケースも多数あります。子どもたちは、偏差値的には十分ですが、霊的な面での成長は、一人で生活していけるほど十分ではなく、そこでサタンに持っていかれてしまうケースも出たわけです。

我が家の末っ子のピーターも、センター試験の結果は、十分な成績を収めました。でも、霊的に十分育ち、キリストにあって燃えているかという点で不十分でした。それで、1年間、霊的な訓練をさせてから、大学に行かせました。また、大学に送るだけでは不十分です。入学前に、親と一緒に外向き、どのような子どもたちと一緒に住むのか、キャンパス・クルセード等、クリスチアンの団体に属させたり、また、集う教会も一緒に行き、牧師やユースリーダーと会い、息子のケアをお願いしました。何か、悪い傾向がみえれば、すぐに連絡くれるようにと、直接、お願いしました」

20歳前後になっても、「学校任せ」にせず、親が霊的な面でしっかりと責任を持ち続ける大切さを訴えている姿に感心しました。

個人面談は満席・白馬以降へ

もう一人の基調講演者、ジョイス・イノウエさんは、昨冬、パーキンソン病を発病し、「チアの家族に尊敬を覚え、特別に思う。役に立てるうちに、立ちたい」と意を決しての来日でした。皆さんのお祈りの中で、体調も守られ、全ての講演が許されました。コンベンション会場にて、そして、東京では、コンベンション前の4日間、個人カウンセリングも熱心に行ってくれました。聖書に立った専門的なカウンセリングを受ける機会が少ないこともあり、予約申し込みが相次ぎ、最終的には



キャンセル待ちの十数家族の皆さんの個人面談はできず、11月の白馬セミナー近辺での再調整となりました。「寝る前に、子どもたちへの祝福の祈りを毎日、続けた」という模範も好評でした。

崩れゆく、これからの時代のために

会場で、いろんな人々との出会いや、交わりも感謝でした。ティーンのホームスクーラーD君と久々に話す機会も与えられました。ニューヨークに3ヶ月行って、音楽での路上パフォーマンスを計画中とのことでした。宿泊プラン等は特になしで現地で考えるとのことでした。冒険心はいいし、アメリカでの学びはとてもいいと思います。でも、アメリカは、天国と地獄が共存している国と、僕は感じています。偉大な国ですが、問題や危険もたくさんあります。

D君の「チャレンジしようという勇気」を讃えつつ、でも、それが「向こう見ずで、準備不足によって、一生を失いかねない危険行為」になるリスクも高いことを伝えました。この夏、海外体験を目指すティーンは多いので、以下の情報は、D君だけでなく、多くの子どもたちに当てはまると思う

し、あるいは、アメリカだけでなく、欧米に共通するであろう、リスクを感じるので、皆さんの情報の引き出しを増やしてもらうために、お伝えしたいと思いました。

「A君、まずは、ニューヨークにチャレンジしようと思う、その気持ちはすごくいいと思う。また、そのプランをお父さん、お母さんと共に、僕にも話してくれてありがとう！ アメリカに住んで20年めの体験も踏まえての僕の感想は、そのままの計画で行ったら、D君は、ホモセクシャルにレイプされ、麻薬打たれて、性の奴隷として売り飛ばされ、日本には帰ってこれない確率が高いと思うよ」「え？ レイプ？」「それは、D君だからということではないよ。ニューヨーク、ロサンゼルス、ダウンタウン等に、特にしっかりした留学計画や宿泊の予約等なく、日本のティーンが3ヶ月滞在したら、おそらく女子ならレイプされて、麻薬打たれて、性の奴隷として売り飛ばされるけど、男子も同じだよ。日本人は、年齢より幼く見えるしね。もちろん、神さまが特別の計画を持っていて、全ての面で守られ、祝福される可能性もあるけれど。まずは、確かなリサーチも必要ではと思うよ」

参考として、D君やその後、話したお母さんのEさんに、以下の5つの映画を見ることを勧めました。

「天国と地獄のアメリカ」 「海外」の誘拐・人身売買・ ホモセクシャルの実情を知る 5つの映画作品

(1)「96時間」

ティーン女性が、空港で騙され、人身売買組織に連れ去られ、麻薬と性の奴隷へ。お父さんが救出へと向かう。

これは、「いなちゃんのお薦め映画」で、「ティーンには必視聴作品」として推薦しています。アメリカで大ヒットしたアクション映画でもあります。アメリカのティーン女性2人がパリに旅行し、空港で待ち受けていた善人そうな若者に騙され、人身売買組織に連れ去られ、薬物と性の奴隷となっていく中、離婚で別れたお父さんが救出を目指す作品です。予想を超える大ヒットで、昨年、続編も登場しています。ヒットの背景は、「これは、実際にありうる事件」というリアリティがあるからです。

全米各地から連れ去られた年間約30万人の女性・男性が、売り飛ばされ、性的、またその他の奴隷的な状態に置かれています(FBI調査)。当初、激しく抵抗した被害者も、麻薬等でマインドコン

トロールされているため、従順に従っていくとのこと。「96時間」を過ぎると、救出はほぼ絶望とされています。

欧米への旅行の前には、ぜひ、視聴を勧めます。暴力シーンもあるので、ティーン以上向けですが、あきらめない父の娘への愛と命をかけた行動ということでも励まされます。

(2)「プリズナース」

「レ・ミゼラブル」、「X-MEN」のヒュー・ジャックマン主演。

感謝祭の日、子どもが突然連れ去られ、消えていく。誘拐事件として警察が捜査するものの、犯人はつかまらず、父親が必死の捜査を始め、神への反抗を挑む犯人像が少しずつ、浮かび上がってくるというストーリー。

日本でも今年5月に公開された作品で、D君に伝えた時にはまだ上映中。現在は、名画座系で上映中。DVDが出たら、再度、お伝えしたいと思います。主演は、「レ・ミゼラブル」や「X-MEN」シリーズを主演するヒュー・ジャックマン。「(D君)ヒュー・ジャックマンが主演というのはすごいですね」「(稲葉) そうだよ。仕事を選べる立場のジャックマンが、なぜ、出演を決めたか？ それは、作品がリアルで、大事なテーマで、出る価値があると思ったからだよ」

1993年、僕がアメリカに引っ越して最初に驚いたのは、毎日、たくさん郵送されてくる、掃除機などの広告のハガキに、4-5人の子どもの写真が載っていることでした。何だろうと思って読むと、誘拐された子どもたちで、情報提供を求める写真でした。それが、ほぼ毎日、いろいろな商品と、子どもたちの写真が代わるだけで、たくさん届きます。当時でも、日本にも誘拐事件はあり、残虐な事件の数も増えていました。でも、日本は、まだ守られていたというか、宣伝ハガキに、たくさん子どもたちの写真が載って、情報提供を求める、それが毎日のように届くような状況ではなかったもので、とても驚きました。

FBIの調査では、アメリカの子どもの失踪事件は、年間80万人を超えています(2008年調査)。1分に1.5人の子どもが見失われ、さらわれ、殺されたり、売り飛ばされているという、驚くべき状況です。事件数としては、軽い交通事故のように、日常茶飯事で、ほとんど、ニュースとしても報道されないのです。もちろん、親にとっての悲しみという点では、日米変わることなく、深刻な悲しみなのですが…。ヒュー・ジャックマンが出演を引き受け、興行成績も1位登場となり、アカデミー賞にもノミネート(撮影部門)された理由

は、この作品の持つ、現実との近さ、共感できる制作姿勢にもあると思います。子の存命を願い、助けたいと思う故ですが、父親による、容疑者への拷問シーンもかなりあるので、ティーン以上の対象作品です。でも、今の欧米での子どもの誘拐事件の現状を理解する作品の一つとして、また、海外に行く場合は、必ず視聴してもらいたい作品として推薦します。

(3)「チェンジリング」

これは、ムービーガイド賞も受賞し、アカデミー賞にも数々、ノミネートされた作品で、僕も名作として推薦しようかと思った作品です。ただし、実話がベースで、それだけに、ショックと悲しみも深く、怖い感じもし、推薦を思いとどまっていました。でも、D君のように、特にホームスクリーニングで大事に育てられた、日本人の大切な魂が、今後、福音を持ち、海外にもチャレンジし、たくさん巣立っていくことを思い、注意すべき事実や常識は、伝えなければいけないと感じましたので、推薦することにしました。

作品は、警察の腐敗と名匠クリント・イーストウッド監督の制作で、実生活でも母親であるアンジェリーナ・ジョリーが、熱演します。1920年代、母が手伝いに出ていた際に、9歳の子どもがいなくなります。捜査の結果、発見されたと連れてこられた子どもは別人で、それを訴えた母親は、墮落したロサンゼルス警察によって、精神病院に強制収容され、以後、薬漬けにされ、廃人としての道を歩まされます。しかし、牧師らのサポートの中で、立ち直った母親は、闘いながら、子どもを多数、誘拐し、自分の子どもを含め、殺害していた容疑者を突き止めていきます。これが、実話であるところに、恐ろしさも、力もあります。上記の「プリズナーズ」にあるように、現在の子ども誘拐・殺戮が拡がった病巣の90年前の姿。初期段階を見る思いもします。この作品も高く評価され、上記の受賞、ノミネートとなっています。それだけ、アメリカの現実と近いからです。映画自体は、子どもに対する母の愛、警察が敵となっても、闘い続ける勇気、牧師の支援ほか、励まされる内容です。



(4)「ミスティックリバー」

同じく、クリント・イーストウッド監督作品。この作品は、アカデミー賞作品賞を受賞していますが、内容的に、チアとしては推奨しません。しかし、アメリカの誘拐、ホモセクシャルの現実を知るという点においては、とても印象的なシーンが描かれているため、そのためには良いと思い、ティーンと大人向けへの限定目的の推薦です。

11歳の男子たちが3人で遊んでいるときに、倒錯した大人たちが一人デーブを選び、数日間、軟禁し、性的な虐待をします。デーブは、命からがら、脱出するものの、心身ともに、深い傷が残されます。成人して3人は再会しますが、数々の殺人事件に絡んでいき、苦悩します。見ていて暗くなる映画ですが、僕自身、11歳の男子が連れ去られていくシーンは、忘れられない映像として心に残り、そのために、見てもらったらいいのではと思いました。昨今、日本でも、残虐な事件も増えてきていますが、今後、子どもへの性的な虐待は増え、アメリカの後を追いかけていくと思われ、状況を知る対策の意味です。

作品は言葉が汚く、一部、聖書や信仰にふれるものの、聖書的な世界観では貫かれず、推薦しません。でも、連れ去りのシーンだけでも、特に欧米をめざすティーンと親御さん、また、日本も、今後、どうなっていくかわからないので、小さな子どもたちを育てている親御さんも含めて、ぜひ、見ておいたらと思う作品です。(全体の作品内容は良くないので、100円でレンタルし、前半の「連れ去り、その後の加虐のシーン」が終わったら、消していいと思います)

ウェイン・コデイロ牧師の実体験から — 同性愛者からのレイプ

レイプといっても、ティーンや成人男性も被害対象になるのが、欧米です。ホモセクシャルの人々によるレイプです。日本でも、いくつかグループ教会を展開している「ニューホープチャペル」のウェイン・コデイロ牧師も、被害者の一人として、数ページだけ、被害の証しを著書「夢を解き放つリーダーになる招待状」に記しています。

高校のミッションスクール入学に向けて、サンフランシスコの長距離バスのステーションに朝方着いたティーン時代のコデイロ牧師。そこで出会った親切な男性に「朝食をおごる」と言われ、ついていきます。連れて行かれた場所は、その男性のアパートでした。部屋に入った途端、男性は豹変します。コデイロ牧師はレイプされ、深く傷つけられ、体の汚れと罪悪感に苦しむ青年時代を過ご

します。幸いなことに、その後、イエス様を明確に信じ、従っていく中で、その傷がいやされていったと証します。

サンフランシスコは、ホモセクシャルのメッカと言われ、特に第二次世界大戦後以降、全米から同性愛者が集まっている街とも言われています。人口75万人のうち、約10万人がゲイ・レズビアンであるという概数もあるほどです。アメリカにおいて、同性愛の 이슈は、中絶問題と並び、大統領や州知事選挙で、大きな争点となる国柄です。候補者の人格、聖書観が問われるというのは、聖書的で優れた面だと思います。でも、それだけ同性愛問題が身近であるということでもあります。だから、日本からの男性もまた、レイプや誘拐の対象であることを知っておく必要があります。

(5) 映画「ショーシャンクの空に」

アカデミー賞7部門ノミネート作品で、広く支持を受け、日本でも、若者たちの投票で、ベスト10作品によく顔を出している作品です。この作品は、聖書的な世界観で描かれてなく、同性愛や自殺ほかが含まれ、言葉も悪く、チアでは推薦しません。ただし、無実の罪で投獄された主人公が、数人のゲイに狙われ、レイプされてしまうシーンは、妙にリアルで、上記のアメリカのゲイの実情を知るには参考になると思います。欧米に行こうというティーンは観ておいてはとも思います。アカデミーに多部門でノミネートされるほどに、映画としてはしっかり制作されていますので、逆に、内容には注意が必要です。エンターテイメント性に引きずられない注意が必要です。見方としては、「ノンクリスチャンは、なぜ、この映画に惹かれるのか」、逆に、「どこが聖書的でないのか...」という視点で、ティーンが親と一緒に厳しく、吟味しながら見るという視聴法が薦められます。

D君への僕からの一つの提案は、「アメリカを志すのはいいけど、3ヶ月ぐらいのクリスチャン系の音楽学校のコースや、YWAM ミニストーリーとか、短期間で、安く、安全も守られながら、レベルを上げ、また、同じくキリストを伝えたいという仲間たちと出会える場所とか、いろいろあるよ。そういうところでは、聖書で打ち建てられた国であ



ガンと生きる小林功治さん、里佳さん夫妻のために、会場のみならず祈りました。左端は、2年前に末期ガンを宣告され、奇蹟の回復をしたデモテさん（東京会場にて）

るアメリカの良い面も体験できるよ。もし、D君の目指す、路上パフォーマンスが神さまの御旨だとするならば、先行して、熱いクリスチャンたちとの3ヶ月間で、いろいろとリサーチすることが、良き備えになると思うよ。英語やコミュニケーションも成長するだろうし...。神さまによく祈って道を求めればと思う。アメリカにチャレンジすることは賛成、でも、向こう見ずで計画性の無い行動は、命や人生の危険も伴うので、よく準備して...、ということを感じるのだけどね

D君は、とても素直に話を聞き、紹介した「映画や本をチェックしてみます」とのことでした。その後、お母さんにも会場で会ったので、同じ情報と心配と提案を伝えました。

病気と闘うホームスクーラーたち

土曜の朝と昼、特に3家族のために、皆さんとお祈りの時を持ちました。最初の家族は、先月号でご報告しました伊澤雄平君（6歳）とその家族のために。4月25日に行われた4度目の心臓手術、そして、5月2日の再手術が成功に終わり、家族と一緒に、コンベンションに参加できました。雄平君とは、前日に会場で再会、幸い術後は良好で、Tシャツをめくって見せてくれた「胸の手術の大きな傷痕」はまだ、痛々しかったです。元気満々でした。「チルミニ」の運動会が、術後の運動の再デビューだったとのことで、「凄く凄く楽しくて、もう1回やりたくてやりたくてたまらなかったです」とのこと。今後も様子を見ていく必要はあるため、皆さんと心を合わせ、「完全な回復と神さま

が大使として大いに用いてくださる」ように、祈りました。

また、2人のホームスルーのお父さんたちが、最近、突然、ガンとわかり、今後の治療と癒し・回復のために、登壇され、みんなで祈りました。

一人は、長野県飯田市の小林功治さん（51歳）。4人のホームスルーのお父さんで、昨冬、ガンが発見され、かなり進んだ段階とのことでした。ご家庭を、修学旅行生の宿に開放したりして、伝道を展開してこられました。特にお仕事は森林の伐採の仕事で体力を使う仕事であり、「その面でも、闘病生活のために、お祈りしよう」と、呼びかけさせていただきました。「神様が必ず、癒してくれると信じています。妻も、子どもたちも、そんなに動揺せず、しっかり受け止めてくれます。お祈りください」。金曜の夜の「交わり・近況報告」の時間に、ご夫妻が壇上で、力強く証ししてくださり、逆に励まされた人々が多かったです。翌日、会場で、去年の白馬セミナー以来の再会だった、3女の杏奈さん（16歳）と話す機会がありました。「（稲葉）お父さんのこと聞いて、びっくりしたろうね」「（杏奈）あんまり、驚かなかった。そうなんだーという感じかなー。今も基本的に普通かな」「（稲葉）そうかー。しっかり受け止めたのは大したものだね。僕は、本当にびっくりしたし、ショックだったよ。大変なことだけど、でも、お父さんは、全快への信仰を持って祈られてるし、僕たちも完全な回復を心から祈るね」「（杏奈）はい。うれしいです。ありがとうございます」。

もう一人は、東京都練馬区の三橋宏史さん（36歳）。奥さんの優子さんが「2012年サマーキャンプのパンフレット」の表紙と2012年のチア・オリンピック後のニュースレターの表紙に登場してくれています（1500m走を長男の幸宏君（7）と一緒にゴールインの様子）。宏史さんも、キャンプやコンベンションほか、いつも、若くて、元気はつらつな印象しかなかったのが、以下の連絡が届いたときには、とてもショックでした。

+++++

第一報は、以下のメールが届きました。

「胃の痛みがひどかったのが、数週間前に胃腸クリニックで胃カメラを飲みました。組織サンプルを取って検査した上で、大学病院を紹介されました。昨日、紹介状をもって診てもらったところ、胃がんと判断されました。今後、精密検査を進めます。平安ですが、どうか信仰が強められ、回復と平安があるようお祈りいただければ幸いです。」

コンベンション初日は、検査で来れないとのことですが、2日目にはかけつけてくれる予定と聞

きました。皆さんと一緒に祈ることはどうか、ご本人の意向を伺ってみました。

「おはようございます！ 三橋です。メール、ありがとうございます。いつもニュースレター、マガジンなどを通して励まされています^^。ガンとわかり、私よりも周囲にショックを与えているようで心苦しい時もあります。でも、いまこの病気が明らかにされ、治療に向かうこと、またなによりも神様、家族、兄弟姉妹、家族親戚との関係の見直しと祝福される素晴らしい機会となっていることを感謝しています。チア・コンベンションでも祈っていただけるとのこと、ありがとうございます。本日も主の恵みがコンベンションに参加されるすべての方に満ち溢れますように！」

実際に、2日目の昼から参加できた三橋さんの回復に向けて、午後一番の全体集会で祈ることができました。

「（三橋さん）先日はコンベンションでお祈りいただきありがとうございました☆ 長野の小林ご夫妻との交わりも感謝でした。ティモシー・ブローマンさん（2年前、末期ガンと宣告され、7ヶ所以上の骨折等の闘病生活を過ごし、そこから復活され、現在、中国出張ほか、元気に活躍され、今回もチルミニ・ユースの手伝いのために、大阪・東京と走り回ってくれた）との時間も大きな祝福でした。み言葉、心の葛藤、悔い改め、主の癒しの奇蹟、祈り。恵みと励ましをいただきました。」

+++++

小林功治さんと三橋宏史さんの回復のために、続けてお祈りいただければ感謝です。

もう一人のガンから回復された チャーチ&ホームスルー

コンベンション会場には、もう一人、ガンと闘い、神さまに癒された兄弟、強（つよし）・ブローマン（岩佐）さん（46歳、故ポールさんとせつ子さんの7男）が中国からかけつけてくれ、新設したユースミニストリー等担当してくれました。強さんは、もともと、とても壮健で、ほとんど病気をしたことのない人生を送られていたそうです。

今から23年前、23歳の時、突然、ガンを発病し、東北大学病院に入院、末期ガンで、余命3ヶ月と診断、告知を受けました。コンピューター会社のソフト開発の責任を担っていた強さんは、ある日、目に痛みを覚えます。1週間、寝込んで、痛みが激しく、視界も一部、閉ざされ、見えなくなり、眼科を訪ねます。

「これは目の問題じゃないよ、脳に腫瘍がある」。眼科医は、強さんを急きよ、東北大学病院の検査



23年前、末期ガンから回復した強（つよし）・ブローマンさん（左）が、コース担当で東アジアの国から、来日！今はブラジル伝道へ！（東京会場・著者と共に）

に回します。一緒にソフト開発をし、納期に追われていた次兄の信雄さんは「ふざけんな。なんでこんな忙しい時に頭に、できものできやがって！」と言い放ってしまったそうです。

父・ポールさんと信雄さんに付き添われて向かった大学病院で、ガンが既に、脳にも肺にも、体全体に広がっていることが判明します。その日の夕方に、緊急手術をし、ガン細胞を発生させている病巣の臓器を摘出し、そのままガン病棟に入院となりました。告げられたのは、「余命3ヶ月」。しかし、「本当は、余命3週間」と担当のF医師は診断していたそうです。信雄さんは会社に戻り、「強、本当に死んでしまうのか」と、一人大声で泣いたのでした。

父のポールさんは、今から13年前、当時のことを僕に話してくれ、とても心に残っています。話を聞いたのは、猪苗代湖。チアのサマーキャンプの場所を一緒に検討し、現地をリサーチしている時のことでした。ポールさんたち、丸森の皆さんは、年に一度、全国の伝道地から、この猪苗代湖に集まり、4日間のキャンプをするのが恒例です。お盆の翌週で、ほとんど誰もいない、静かな湖畔での時間です。

「強の状態を、このキャンプに来る直前に、お医者さんから聞いたの。それから私はね、大学病院から猪苗代湖に来ただけで、本当に悲しかった。そして辛かったよ。ほかのこと、考えられなかったよ。キャンプの期間ね、私はずっと祈っていた。向うに田んぼが広く、見えるでしょう。朝起きてね、あの端から端まで、長い距離、ずーっと祈りながら、歩いて、また、折り返して祈って、…。昼も夜も、過ごしていた。神さま、強の命を助けてくだ

さい。ガンをいやしてくださいと、それだけを祈って、ずーっと歩き続けていたことを今でも、よく覚えているよ」

その後、強さんは、抗がん剤治療（1回、3週間）を10回重ねます。普通は、5回が精いっぱいとのことですが、10回、15ヶ月間、耐えます。しかし、状態は悪化、命の危機を何度か繰り返し、最後は、抗がん剤治療もこれ以上は無理となります。最終手段として、すべての血液の治療を交換する治療法、それも生存率は5%との治療法をするか、聞かれます。ポールさんは、「強の選択に任せよう」とし、強さんは、「治すも治さないも、神さま次第。あとは家に帰り、神さまに任せる」と、退院の道を選択します。

入院中の15ヶ月間、強さんは、大学病院のガン病棟で、ひたすら伝道し、入院患者や、医師・看護師の皆さんのほぼ全員に近いくらいの人々にキリストの福音のトラクトを渡したといえます。余命3ヶ月と宣言された23歳の若者が、心を込めて届けたキリストの福音は、多くの人々の魂に届いたのではと思います。信じた方もおられました。その頃、中国から日本に来て、現在、日本と中国でいくつか会社を経営するGさんも、その一人です。当時、病院で掃除の仕事をしながら、トラクトをもらい、そして、イエス・キリストを信じました。友好関係は、23年経った今も続いています。

治療の終結を決断して間もなく、前回、いよいよ末期レベルだったガン細胞の数値が、急激に下がっていました。大学病院では、検査機器が壊れたのではと3度、検査しました。しかし、結果は同じで、数値は安定していました。強さんは、「神さまが治してくれたんだよ」と神さまを讃えました。F医師は、ポールさんたちが設立した明泉幼稚園に自分の子どもを送る、親しい父兄でもありました。「(F医師)僕は無神論者だからね。神様は認めないよ。数値が下がったのは、これまでの抗ガン治療の積み重ねと、家族の愛等でいやされたのではと思うよ。でも、ガン細胞は、今、一時的に隠れてるだけだろう。そのうち出てくるよ」「(強)F先生、やはり、イエス様が奇蹟という方法で癒してくれたのだと僕は思います」。F医師は、ポールさんにも、「わからない。キリストさんに聞いてよ。強君はただラッキーボーイなんだと思う」と言うのみでした。

その後、検査を週1回、2週間に1回、2ヶ月に1回、3ヶ月、6ヶ月と2-3年間続けました。しかし、今日に至る23年間、ガンは再発しませんでした。

検査中のある日、カーテンの後ろから、F医師と同じ病棟に入院中の末期ガンの患者、Hさんの声が強さんに聞こえてきました。「(Hさん)F先生、

どうして、あの岩佐さんが、治ったのですか？」(F 医師) 岩佐さんは、キリストを信じてたから、治ったんだよ」「(H さん) 私も信じたら、治りますかね？」(F 医師) いや。それは岩佐さんのように本当に信じなければだめだよ。強さんは、心から主を讃え、H さんの癒しと F 医師、H さんが「キリストを信じて救われるように」と、カーテン越しに祈ったそうです。

強さんは、その後、日本各地の伝道を経て、東アジアの伝道に導かれます。東アジアでの約 20 年の伝道期間を経て、次はブラジル伝道へと向かう、その途中にコンベンション会場に寄ってくれました。「僕は、チアの皆さんが大好き！ いつもはマガジンとか、家族たちからの話して、聖書に立って生きていこうとがんばっている、その様子を聞いているんだけどね。一回だけ、7-8 年前のコンベンションに参加できて、親父が僕の事を紹介してくれた。とっても励まされるコンベンションだったよ」

今回、担当してくれたユースセッションでは、東アジアでの伝道の様子を見せながら、指導してくれました。参加者からは、「ユースで聞いた話良かった」「ユースセッションで見た伝道のビデオが凄く心に残って、将来、伝道者になる道も考えたいなと思いました」といったコメント等も寄せられました。

その後、僕はロサンゼルスへと戻り、共に、キリストの福音の映画制作を目指して、14 年間、一緒に励んでいる、強さんの兄、ジャシュア・ブローマンさん(五男)に話を聞きました。「(ジャシュア) 本当にびっくりしたね。親父は、当時、公衆電話でその知らせ聞いたんだけどね。ほとんど気を失って、電話ボックスの壁によりかかっていたらしいよ。F 医師は、母(せつ子さん)には、お葬式の準備をし、家族・親戚に連絡するようにと話してたし」「(稲葉) この事を通して、何か、神さまに教えられたことある？」(ジャシュア) 祈ることと聖書だね。医学的には絶望的な状況で、神さまを信じるしかない状況だった。聖書と神さまの約束を信じるしかなかった」「(稲葉) なるほどね」「(ジャシュア) でも、この時期ね、良かったことがあった。神さま中心に、家族が近くなったんだ。みんな心を合わせざるをえないし」「(稲葉) その状況、よくわかるな。僕の家は、母がずっと具合が悪かったのだけど、でも、そのお陰か、家族の関係はとてもいいというか、絆が深いんだよね」「(ジャシュア) そう。辛い状況があれば、人生で何が大事か、考えさせられるからね」「(稲葉) ポールさんが、猪苗代湖を見せてくれた時、あの田んぼのあぜ道を歩きながら、ずーっと祈り続けたと言ってた。それも忘れられないな」

「(ジャシュア) あのキャンプの時は、他に何も考えられなかったと思うよ。祈りしかない。それがわかったことが、僕の人生にも大きかったんだ。ちょうど、その直後、(妻の) なおみへの恋が始まり、祈り始めることとなる。祈りが必要で、神さまがきっと答えてくださる、、、と思った。実際に結婚にいたるまでは、13 年かかるけどね。なおみとの結婚生活は、強のことで再確認させられた『祈り』の中で、与えられた」「(稲葉) なるほど」「(ジャシュア) 父にしても、そうだね。祈りと聖書に戻ることができたと言ってた。当時、明泉は、園児・生徒がものすごく増えていたし、また、新しく始まったコンピューターの事業が急に拡大し、ビジネスが、ものすごく忙しくなっていた時期なんだ。その中で、父の時間も心も、当然、仕事へと取られていった。でも、この時期、『強の闘病のお陰で、神のことばに浸ることができた。祈りの大切さを、ものすごく体験できた。祈りと聖書に戻ることができた』と言ってたよ」「(稲葉) なるほど。祈りと聖書に戻ることができた、、、か。その後、コンピューターの会社は、マイクロソフト社のゴールドパートナーとなったりして、急成長していき、伝道地もさらに世界各地に広がるタイミングでもあったし、代表者の一人のポールさんが、『祈りと聖書』に戻って、整えられる必要があったわけだよね。なるほどねー」

サマーキャンプ、今年も開催近づく！

今、チア事務局は、キャンプ準備の真っ最中です。どうぞ、お祈りください。今年は当初、恒例の明泉学園をお借りしてのキャンプは 1 年先送りし、上記の丸森の皆さんの猪苗代湖キャンプに合流し、例年のキャンプは、来年度以降に延期しようとの計画がありました。去年もそうでしたが、夏キャンプで、ホームスクーリングを決心されたり、イエス様を信じるご家族が毎年、起こされ、また、リピーターの皆さんにも深い交わりほか、好評で、感謝です。コンベンションに続いての企画で、事務局の負担は大きいものの、意義の深い企画として継続してきました。しかし、11 回も続き、多くの皆さんも体験され、春のコンベンションと秋の白馬に集中してもいい時期かなという案、あるいは、2011 年に「猪苗代湖キャンプ」を計画し、震災で延期となりましたが、延期した新スタイルのキャンプの準備に入ろうかとの案もありました。

その中で、今年は、猪苗代湖の丸森の皆さんのキャンプへの合流案が検討されました。年に一度の交わりの時間で、接待モードにさせては申し訳なくもありましたが、「実質、すでに、たくさ

んの人々が訪れて、そのようになっているし、大丈夫ですよ。200人来るとさすがに大がかりになるので、最初は、10-20家族とか、限定でスタートしてみる案ならいいかも」ということで、案がまとまりかけていました。

ところが、今年は春先から、サマーキャンプへの申込み、問い合わせが、初めての方等を含めて、4-5家族続き、事務局でとても驚きました。コンベンションに続く準備で負担が一番かかる桑谷美穂事務局長から、「これは例年、余りないこと。今年は神さまが、例年通り、やりなさいと励ましてくれているのではと思いますが、どうでしょう？」ということで再度、祈り直しながら検討し、今年度は継続してやることにしました。ホームページで発表してみると、やはり、新しい参加者の皆さんからの問い合わせが多く、継続して良かったと思っています。

2015年度は、まだ未定で、猪苗代湖案で、例年のスタイルは2016年に、、、という可能性もあります。その意味では、例年のスタイルで、、、と考えておられる方は、今年、ぜひ、ご参加くださればとも思っています。例年の大好評企画に加え、アメリカで今、人気の団体ゲーム大会や、例年は、深夜遅くまで持たれる交わりの時間を午後計画したり、例年以上に、深い魂の交わりのできる時間等も企画しています。どなたでも大歓迎です。導かれた皆さんは、ぜひ、ご参加ください。また、良きキャンプとなるようにお祈りください。

最後に私事ですが、コンベンションの稲葉家の恵みの証しです。まずは、先月レポートしました、木から落ちて、半日の記憶を失った件、コンベンション会場にて多くの皆さんが心配して声をかけてくださり、とてもうれしく、励まされました。お陰様で、7月4日、ケガ後、2ヶ月半現在、98%の回復ぶりです。まだ、ちょっと背中等が痛く、走りたい気持ちを抑えて、1-2キロぐらいのニコジョギング等にしています。マラソン仕様になりかけた体は、いったん戻ってしまった感じで、残念です。でも、「ゆとりが大事」。紆余曲折を経て、総合的に強くされていくのだと思います。続けてお祈りください。

今回、コンベンションのビデオ撮影と編集をエミリ(17)がしてくれました。僕に余裕が無くて久しくできなかったビデオ制作が新たに再開でき



エミリはビデオ撮影・編集&全体ゲーム担当に初挑戦！
久々にチアビデオ復活へ（チアHPでどうぞ！）

て、喜んでいきます。エミリは、大阪分は、東京に戻って編集し、東京会場で上映し、東京分は、初日の朝4時までと、2日目の夕方までかけて編集し、2日目の夕方に上映しました。今の僕には編集の余力はゼロで、エミリに助けられています。

僕には、撮ってすぐに仕事を仕上げる気力と力がなくなっていたので、これは和紀子の才能と教育と主の恵みなのかな、、、と今回、改めて発見し、和紀子にも感謝しているところです。エミリにとって、今回が、ビデオカメラ初撮影、初編集でした。写真は前から好きでしたが。映像に関心を持ったのは、幾分かは僕の影響もあるだろうし、やはり、ホームスクーリングの恵みの一つかな、、、と、思って、感謝していました。HPにアップしています。ご覧ください。また、若者たちが、アンケートに、「エミリと仲良くなれてうれしかったです」「エミリちゃんとも仲良くなってたくさん話した！」とか書いてくれ、親としては、それもうれしかったです。

ジョセフは、お陰様で日本語が上達し、主を讃えています。2年前、ピリポさんから、「ジョセフと英語で話してはダメです。もったいない！」と怒られました(^_^;)。反省した僕はできるだけ、日本語で話すようにしました。以降、日本へも同行させる機会も増え、チアの皆さんとの交わりがジョセフは楽しく、少しずつ上達していきました。コンベンション終了後、以下のメールをもらいました。

「絵画コンクールの表彰式のステージ上。賞品が見たくてうろちょろしそうな娘(3歳)の手を握る私。娘が賞状を頂いている中、ジョセフ君(5歳)が私に顔を近づけてきて一言、「おめでとう



チルミニ賛美（東京）（チアHPでどうぞ！）

ございます。かわいい、お子さんですねー！（にっこり）「ありがとねー！」と私。あー、ジョセフ君、あなたこそ、そうなのよー！って思いながら、賞状と賞品を頂き、階段を駆け下りる親子。」

このシーン、賞状を渡す、すぐそばでの出来事だったので、僕の目にも入って、うれしく思い、にっこりしてしまいました。周囲の皆さんへの配慮やコミュニケーション力も上達して感謝。これも、神さまの恵みと、大人といる時間が長い、ホームスクーリングの効果かな、、、と思いました。

稲葉家のホームスクーリングも山あり、谷ありますが、神さまのあわれみと恵みと皆さんのお祈りの中で、前進させていただいています。続けてのお祈り、お願いします。

主への信頼

今、改めて示される聖書は、主への信頼と祈りです。詩篇 121 篇 1－4 節です。

「私は山に向かって目を上げる。私の助けは、どこから来るのだろうか。私の助けは、天地を造られた主から来る。」

そして、イエス様に赦しを求め、血潮が支払ってくださったことの重さを感謝します。私たちの過去も現在も、未来の罪も、赦されていることを忘れずに、動かされず、どんな状況でも、感謝し続けられますようにと祈ります。

「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」（第一ヨハネ 1：9）

どんな状況でも、いつも守り続けてくださっている、主に感謝し、従っていければと思い、祈ります。

「主は、あなたを守る方。主は、あなたの右の手をおおう陰。昼も、日が、あなたを打つことなく、夜も、月が、あなたを打つことはない。主は、すべてのわざわいから、あなたを守り、あなたのいのちを守られる。主は、あなたを、行くにも帰るにも、今よりとこしえまでも守られる。」（詩篇 121 篇 5－8 節）

ポジティブに、「祈りと聖書」に、ますます、心を向けていくことを示されます。

サマーキャンプへのご参加、お祈りをよろしくお願いします。皆様への祝福を心から祈っています。

主にありて

稲葉 寛夫



これから賛美ステージへ！（大阪）

チア・サマーキャンプ 2014 in 仙台明泉学園 8月14日(木)～16日(土)

大好評！ 滝つぼ・溪流での水遊び&大岩からのジャンプ、全国的に評判のウォーターファイト、乗馬、手作りTシャツ、打ち上げ花火、滝つぼ遊泳&アメリカ大ヒット！最新ゲーム大会ほか。バイブルクラス、チャーチ&ホームスクーリング入門クラスも大好評！



前日泊(13日)、今年もOK！ 布団と宿泊スペース、無料提供します！

前日の13日22時までに到着できる皆様には、今年も無料で布団を提供いたします。また、明泉学園の皆様のご厚意も得て、宿泊用スペース(男女別のすてきな教室、幼児は男女別でなくてOK)の提供等も、ご協力いただくことになりました(食事、入浴等はキャンプスタートまでは、各自でお願いするスタイルです)。翌14日昼までは、スタッフチームは準備を進めています。その間、各ご家族・グループの皆さんは自由時間となります。ご希望の皆様、その可能性がある皆様は、事前にチア事務局にご連絡ください。

早期申込特典！

7月15日までにお申し込み&ご入金済みの大人の方に、チア図書券(500円)をプレゼントします。ぜひお早めに！

「しつけ教室」「C&H入門」

「しつけ教室」(by ピリポ・ブローマン氏・元明泉学園理事長)、「チャーチ&ホームスクーリング入門講座」(by 稲葉寛夫)も開催します！

ティーン・ナイト(中高生向け)

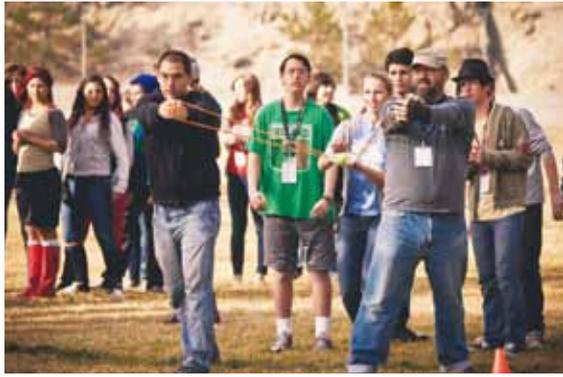
初日の夕食後から、テントと聖書とゲームとキャンプファイアー。寝袋、持ってきてね！2日日夜も、特別プログラム、楽しいよ！

大好評のLIT(14～18歳対象、定員24名)

全国からの参加者を助け、キリストの弟子訓練を体験できるリーダーズ・イン・トレーニング(LIT)。原則14～18歳対象で、これまでのチア・キャンプ体験者を優先。13日夜に宮城県丸森町の啓明小に集合し、翌日は溪流・滝泳ぎを体験。前日の準備から期間中の作業を行います。関西・関東からのLIT参加者にはチャーターバスを運行予定(詳細14ページ)。それ以外の皆さんは丸森駅(阿武隈急行)まで出迎えがありますので、事前にチア事務局にご連絡下さい。

【LIT参加条件】(詳細21ページ)

来年以降のLIT希望者で、チア・キャンプ未体験の方は、ぜひ、今年、参加ください！「14歳以上&チア・キャンプを経験済み」が、LITの条件です！申し込み順の受付となります。



☆初企画☆
アメリカで今、人気の
団体ゲーム開催!!
お楽しみに!



☆ 東京-仙台 格安高速バス・電車アクセス情報 ☆

(※お申し込みは直接各センターへお願いいたします。混雑が予想されますので、お申し込みはお早めに)

◎東京から格安高速バスの場合

(下記以外にも格安バスはいろいろとありますので、ぜひHP等をチェックしてみてください)

◆ JRバス東北 (仙台駅東口バス案内所 TEL 022-256-6646)

☆行き 8月13日 新宿駅南口発 (10:30) → 仙台駅東口着 (16:15) →
仙台駅発 [仙台市地下鉄・泉中央行き] (16:42) → 八乙女着 (16:56)
(一人片道 4500 円)

☆帰り 8月17日 八乙女駅 (13:55) → 仙台駅着 (14:08) → 仙台駅東口発 (15:00) →
新宿駅東口着 (20:45)
(一人片道 5500 円～)

◎東京から新幹線の場合

(新幹線は、その他もいろいろとありますので、ぜひチェックしてみてください)

☆行き 8月15日 東京駅発 やまびこ131号 (9:24) → 仙台駅着 (11:14) →
仙台駅発 [仙台市地下鉄・泉中央行き] (11:40) → 八乙女着 (11:54)

☆帰り 8月17日 八乙女発 (13:48) → 仙台駅 (14:01) → 仙台駅発 やまびこ48号 (14:24)
→ 東京駅着 (16:24) (一人片道 10,670 円、往復 21,340 円)

◎飛行機の場合

☆行き 8月15日 仙台空港発 [仙台空港線・仙台行き] (10:59) → 長町駅着 (11:17) →
長町駅発 [仙台市地下鉄・泉中央行き] (11:25) → 八乙女着 (11:47)

☆帰り 8月17日 八乙女発 [仙台市地下鉄・富沢行き] (14:23) → 長町駅着 (14:44) →
長町駅発 [JR東北本線・仙台空港行き] (15:12)

仙台市営地下鉄・八乙女駅から会場への送迎バス 運行 (要予約)

キャンプ初日の14日(木)、仙台市営地下鉄・八乙女駅から会場までの送迎バス(3便)を運行します。ご希望の方は、下記、申込事項をEメール (office@cheajapan.com) か、FAX (03-6862-8648) にてお送りください。完全予約制ですので、ぜひ事前にお申し込み下さい (ご希望者がいない場合、運行はありません)。締切は8月8日(金)まで。

■希望時間帯に○をしてください。

() 11:30 () 12:00 () 12:20

■ご乗車 代表者名 ()

■ご乗車人数 () 名

■携帯番号 ()

第4回 チア・オリンピック

9月15日（月・祝）

台東リバーサイドスポーツセンター

（浅草線・銀座線・都営線ほか）徒歩12分

（隅田川沿い散歩コース）駐車場、路線バス有り

どなたでも
大歓迎！



スカイツリーの見える全天候型陸上競技場で開催！（雨天決行）

- ☆ 2 - 3歳まで参加の25m 走。
- ☆ 子どもから大人まで参加の1500m 走！
- ☆ 25/50/100/100m ハードル /200m 走は、
決勝戦！
- ☆ やり投げ（ジャベリックスロー）、遠投、
走り幅跳び など

ボランティア募集！

記録係、ピストル、走順並べ係、テント張りほか、多数募集します！



プログラム（予定）

<午前部の部>

- 玉入れ競争
- 50 m走【予選】
- 25 m走【予選】
- 100 m走【予選】
- 走り幅跳び
- 100 mハードル走【予選】
- 1500 m走

<午後部の部>

- 200 m【予選】
- ソフトボール投げ
- ジャベリックスロー
- 短距離走【決勝】
- 障害物競走
- 綱引き
- リレー

参加締切 9月10日

出走順等を決めるため、事前登録が必要となります。ぜひお早めに！

第4回 チア・オリンピック 9月15日（月・敬老の日）

参加申込書 ⇒ FAX 03-6862-8648 メール：office@cheajapan.com

ふりがな 代表者ご氏名 （ 歳）	お電話 （携帯）
ご住所（〒 ）	
■参加費 大人（中学生以上）800円×（ ）人 小学生 500円×（ ）人 幼稚園以下 300円×（ ）人 ※応援団の皆様も参加費がかかります。ご了承下さい。 合計（ ）円	
ふりがな □スタッフ希望 男・女 歳	ふりがな □スタッフ希望 男・女 歳
ふりがな □スタッフ希望 男・女 歳	ふりがな □スタッフ希望 男・女 歳



「熱闘、甲子園！スライディングの練習……ではないよ (^_^)！」

チア・コンベンション 2014 アンケート Part1

大人編

●今年もコンベンションでは多くの励ましと気づきを受け、リフレッシュされた2日間でした。良い子を育てるのではなく、神様に頼る子どもを育てるという当たり前のことに戻る事が出来ました。(神奈川 辻寿&奈央子)

●今回のコンベンションでも沢山の修正の声と祝福とを受け取りました。みなさまの舞台表裏での尽力に感謝します。今回ストーパー夫妻の講演、分科会もとても考えさせられ、励まされました。最初の、ホームスクーラーが放蕩したら…というテーマは、ホームスクーリングをしていれば子どもたちも神様に従うようになる、とな

んとなく思っていた部分が確かにあり、そうならなくても話は未だ終わっていない、神様の計画に信頼する、と自信を持ってカレンさんが語ってくださった姿を見てお二人の謙遜さに触れることが出来ました。

ジムさんのアメリカ留学の誘いやSATに関する分科会も、試験官の視点からシステムを教えたただけで、とても実践的で面白かったです。まだこの分科会は自分達には少し早いかな、と思って参加しましたが、全然早くなくて、このタイミングで受けられてよかったな、と思いました。

この分科会を通して一番心に残ったのは、「統計的に見ても、ホームスクーラーはSATでも最高得点を取るグループである。なぜ

なら彼らは神の言葉を覚え、心に蓄えているからである。」とジムさんが仰ったことです。次の御言葉を思い出しました。「この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行うためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである」(ヨシュア記1:8)

そっか、やっぱりカリキュラムの心配をする前に聖書を憶えて、心で考え続けることが断然大事なんだ。で、そのことがゆくゆくは勉強や仕事の成功につながっていくんだ、ということに非常に納得がいき、神様から確認をいただいた気がしました。そしてそのことはまだ先のSATにおいても例外ではなかった、つながっていくんだ、と教えられたことに、なんとというか、安堵のようなものを覚え

ました。

いつもコンベンションや白馬などに参加するたびにホームスクーリングを通して原点に帰らせてもらっています。ホームスクーリングをしていなければ受けられない恵みだな、と思いました。ジムさんじゃないけど、参加するたびに我が家が小革命を起こしている気がします（笑）。ジョイスさんの祝福の講演を参考に、もっと子どもたちを祝福するように意識し始めました。（東京 志賀信泰）

●今回、ストーバー博士夫妻とジョイスさんが来て下さったこと、とても大きな励ましを頂きました。最初のカレンさんの基調講演で大きな感動と確信を頂き、私達が導かれてきたこと、様々な問題や葛藤…確かに主の導きの中を進んできたんだ、これでいいんだ…って、すごく思えました。

そしてHSをする中で放蕩息子の「お兄さん」を育ててはいませんか？との問いかけに心打たれました。本当にそうだと思っていたからです。いつの間にか目に見える部分だけを正すようなことをしていないか、父なる神の愛の心を理解し従うように導いているか、また自分も焦点がずれていないか、改めて思われました。またストーバー夫妻がアフリカ系アメリカ人のお子さん方を養子にされたことで、家系の霊的な闘いに勝利されたこと、感動しました。

ジョイスさんも、お子さんに対する祝福の祈りには涙がとまりませんでした。実際にあのような祈りのお手本を見せて頂いたこと、

娘さんの姿・お証にも愛と祈りの実を見せて頂けて感謝です！ ありがとうございますm()m一つ一つが感謝の気持ちでいっぱいです。素敵なおビデオを作ってくれたエミリちゃんにも感謝です。神様が豊かに報いてくださいますように！！（神奈川 梶山志津）

●霊的にも、教育の情報としても、大変恵まれ、励まされたコンベンションでした。今まで気付かなくていたけれど本当は必要としていた情報を、愛を持って、タイムリーに伝えていただき、主は、ちっほけな我が家のホームスクーリングをいつも見て、導いて下さっていることを、改めて、驚きと共に実感しました。講師の方々のレクチャーの内容は、大変質が高く充実したもので、今後一層多くの方が導かれますように祈っていきたいと思いました。

コンベンション中に、（心臓手術後の）雄平（6）や我が家のために、お祈りの時間も取って下さり、本当にありがとうございました。雄平は、物凄く元気に張り切って運動会に参加し、手術をしていなければこんなには楽しめませんでしたし、手術後、初めての体を動かす機会が、チルミニ運動会だったことも、全てが主のご計画の中にあつたように思い、感謝しました。

響子（13）は、ユースセッションがとてもよかったそうです。伝道者として生きていくという人生の選択があるということ、強く感じたとのこと。やわらかい心を持つ若い時代に、ナタンさん

達のような最前線に立って主のために労しておられる方々のメッセージを直接聞く機会が与えられているとは、なんて素晴らしいことだろうと思います。（東京 伊澤恵美）

●娘がなかなか離れられず、私もチルミニと一緒に参加させて頂いたり、講演や分科会など、聴けなかった部分もありましたが、それでも色々教えられて感謝でした。また色々な方々と再会でき、うれしかったです。

ピリポ・ブローマン先生に参加者が「先生が伝道されて救われた方は何人くらいいますか？」との質問に、「ほとんどいません。数えません。私の働きは種まきです」と答えておられたこと。その場に、聖さが漂いました。

とりなしの祈りのセッション。最後に2人のお母さんたちが、ご自分の抱えている思いをシェア。涙ながらにお分かち下さったこと、自分も、また多くの方々もうなずきながら聞いていた。そうそう、私もそう、うちもそう…。すすり泣きが聞こえる。多かれ少なかれ、同じような苦しみを抱えながら、それでも、やっぱり神様見上げて行こう、この道を行こう、と思っているんだな…と。カレンさんの祈りの後、最後は、主にある希望が与えられ、みなさんのお顔も、晴れやかになりました。

マタイ・ブローマンさん（のりさん）のセッション。ご一家の日常から学ばせて頂きました。「僕のお父さんが、本当に僕を愛してくれた」「僕のお父さんと同じよ



チルミニ・LIT スタッフ、乳幼児にも大好評！

うに僕も子ども育ててます」など、ポールさんがしてくださったことを感謝して、ポールさんを模範として、今、一生懸命子育てしておられる姿、ポールさん、どんなに喜んでおられるだろうな…と思ひ、涙が出そうになりました。

久々に再会した友人が「チアの働き、大きくなったねー。でも、稲葉さん、変わらないねー。ぜんぜん、偉ぶらないよねー」ほんと、そうですね。同感です。チアのスタッフのみなさんも、本当にそうです。(神奈川 南雲恵理子)

●久しぶりに皆さんとお会いできて、とても励まされました。基調講演のジムさんご夫妻もとても使命に燃えている方で、色々分かち合っ下さり、本当に感謝でした。ジョイスさんもパーキンソン病なのに明るく主によりたのんでいる姿に励まされました。稲葉さんもとても高い所から落ちたとは思えないくらい元気な姿で、主の守りを感謝いたしました。いつもホー

ムスクーラーのためにありがとうございます。(匿名希望)

●ホームスクールの焦点がいつの間にか「子ども」であったり、「勉強させること」に向いてしまいがちな自分です。今回、焦点を「主」に向け、またホームスクーリングしていく中で私の至らないところを全て主が覆ってくださることを教えていただき、感謝でした。

もう1つ印象に残ったことは、夜の「自己紹介」の時間に、カナダへ行かれた方が、カナダのホームスクールのカンファレンスの様子を話して下さったことです。私はアメリカやカナダはこのカンファレンスも充実している、と思っていましたが、チルミニがなかったとのことで、チア・につぼんのチルミニは当たり前のごとでなく、特別なんだ！と実感しました。(東京 堀井ユリ)

●2日目午後のみでしたが、特別

な時となりました。同じくガンと向き合う小林さんと奥様や、ティモシーさんと分かちあい、また大いに励まされました。お祈り、感謝します！(東京 三橋宏史)

●いろんな方と交わって楽しかったです。宿泊もとてもきれいで、ゆっくりとできました。カレン・ストーバーさんの講演では、忍耐と主への希望が与えられ感謝します。ジョイス・イノウエさんは、分かりやすい虹の祝福が印象に残ります。(高知 石原和美)

●とても良かった。ストーバーさんの話で火が燃やされました。新しい神様からの目標が与えられました!! (匿名希望)

●コンベンション会場と宿泊場所が隣接していたので、荷物や子どもの移動の負担がなく、助かりました。会場が公園内にあり、スタッフの方々の奉仕のおかげで、子どもたちが大変楽しく過ごせて感謝です。私たちは子どもを留学させてあげたいという希望があったので、ジムさんのお話が大変参考となり、方向性が見えました。子どもの文章力を養うための読破本の紹介がなされ、具体的方法が与えられ、備えができそうです。(匿名希望)

●今回、初参加でした(31日のみ)。なぜ、ホームスクールなのかという疑問がはっきりしました。とても素晴らしい1日でした。(兵庫 小堀リエ)

子ども & LIT 編

●分科会でこれからの将来のための情報をもらえて良かったです。とっても楽しいコンベンションでした！（石原未悠奈 高1）

●楽しかったです。子どもの世話をしながら神様を少しでも理解できて感謝でした。（匿名希望）

●すごく楽しかったです！ 特にユース、すごく良かったです。いつもホームスクーラーのために働いて下さり、ありがとうございます！（片岡結実 12歳）

●昨年、一緒に遊んだお友達と再会できたことが一番嬉しかったです。工作とゲームもとっても楽しかった。（高倉琴泉 8歳）

●今回は大阪・東京両方とも参加でき、本当に感謝でした。チルミニと一緒に思い切り遊ぶのも、楽

しかったけど、何よりティモシーさんの“あなたは死ぬ直前まで神様を愛し、証してきた”と言えますかという問いが、心に残りました。今こうしてホームスクーリングをしているのも、健康な体でいられるのも、もっと言えば生きているのも、全て神様の恵みであり、本当に感謝なことだなと思った一方、自分は将来、イエス様を伝えたいな、とも思いました。

コンベンション前日の準備から一番最後の片付けまでいられて（いつもどうしているのかな…と思っていたので）、とても良かったです。用意を通して、前日からLITをしている気分になり、また最後の片付けを通して、やりきった感がたくさんありました。また、やりたいです！（飯島真珠 16歳）

●初めは恥ずかしかったけれど、やってみるとどんどん楽しくなりました。1年生で初めてのチルミニ

二運動会だったけれど、凄く凄く楽しくて、もう1回やりたくてやりたくてたまらなかったです。（伊澤雄平 6歳）

●ユースセッションで見た伝道のビデオが凄く心に残って、将来、伝道者になる道も考えたいなと思いました。（伊澤響子 12歳）

●去年から楽しみにしていた。チルミニも充実していたし、賛美もとても楽しかった。また、いつも会えなかった友達に会えてとても嬉しかった。また来年も楽しみに待っていたい。（佐藤信希 11歳）

●チルミニでお父さんに虹を作って、喜んでもらって嬉しかった。ジョセフさんとたくさん遊べて楽しかった。

チルミニのメッセージで、「勉強を感謝してやろうね。」と先生に言われたのが心に残った。神様からの恵みがたくさんあった。

チルミニの先生たちに感謝します。来年も楽しみにしています。（佐藤光 5歳）



※この他にもたくさんコメントを皆様からいただきました。続きは次号に掲載予定です。お楽しみに！

< LIT — 参加資格の舞台裏 >

感謝なことですが、LITの人気の高さが続いています。とりわけ、サマー・キャンプは、13歳（条件外）の皆さんからの申込数も多く、今年もウェイティング登録等への案内で大忙しです。お母さんの一人から、「LITに、選ばれる厳しさもわかっていたつもりでしたが『14歳から…』というルールや人数にも試行錯誤があったことを改めて知りました」と丁寧なご返事いただきました。「あ、そうか。今まで、詳細はお伝えしてなかったな」と思い、その一部、お知らせしますね。

13歳への許可はかなり厳しく、去年も、13歳のLIT申込者10数名を、受け入れることができず、新設したユースコース等にまわってもらいました。私たちスタッフの心には、その一人一人の顔が、ずっと心に残っています。たとえば、大阪からせっかく申し込んでくれたAちゃん、地元仙台で、これまで10回あまり参加しているB君、また、前年のキャンプでHSを決心して、特にフォローをする必要を感じていたCちゃん。Dちゃんは、学年的には14歳と同学年ですが、誕生日は、キャンプの数か月後で、ルール通り、次の年まで待ってもらいました。線引きが難しいからです。また、Eちゃんに至っては、2年待ちで、今年、初めて、念願がかなう予定です。おとしが、13歳から受け入れていたため、1年待ちでしたが、去年から、14歳に引き上げられ、合計2年待ちとなりました。

12年の歴史の中で、実験的に受け入れた年度もありますが、結構、厳しい評価がついて、現状に至っています。制限を拡大し、50名のLITになった年度があります。やはり、多すぎて、全体としてはとても良かったのですが、例年のような深い関係にはなれなかったとの評価も出て、24名の人数制限をしっかりとすることとなりました。チア・キャンプや、他のチア・企画等、未体験者を入れた年もありますが、結果は厳しかったです。また、12歳を実験的に受け入れた年もありましたが、行動や発言が子どもだったケースもあり、1年で止めにしました。13歳については、参加者は、かなり頑張りましたが、やはり、行動の幼さや、働きぶりに不十分さが目立ち、当初の14歳以上に戻し、未来のリーダーとして、忍耐し、資格条件が満たされるまで、待つことを覚えてもらっています。

ただし、条件外であっても、その情熱を買い、ウェイティング登録にまわってもらっています。実際、14歳以上で、定員に達しなければ、席が回ってくる可能性があります。積極的に応募したり、祈り心を持って待つことは、聖書的なリーダー育成の意味でも良いことと思います。こうしたニーズに対応し、去年、ユースセッションを新設し、好評でした。今年も継続です。

以上が、LIT展開の試行錯誤の一面です。毎年、ここまで神さまが祝福し、ティーンたちが、仕える心を持って、喜んで参加してくれることをとても感謝に思っています。神さまの恵みとあわれみ、多くの皆さんのご協力のお陰です。これからも必要ですので、皆さんの一層のご理解とお祈りとサポートを、また、ご応募・ご参加を、心からお願いする次第です。どうぞ、よろしくお祈りします。

★ チア・コンベンション ★

講演・分科会をCD・DVDで聴くことができます

83 講演 DVD だけの特典・パワーポイントデータ入り！

83 講演を収録したコンベンション講演 DVD（コンピューター用・mp3 版）には、特典としてジム & カレン・ストーバー夫妻、ジョイス・イノウエさんらの講演のパワーポイントデータも入っています。

お申込みは、DVD・CD オーダー表（今号に挿入）に記入し、FAX（03-6862-8648）、または、メール（office@cheajapan.com）にてチア事務局へ！ 定価 6800 円（税込）。

♪ ボイス&メール ♪

Voice & Mail

「聖書がわかる 28 の素敵なお話」を取り寄せさせていただき、伝道に、また教会学校に用いさせていただいています。ホームスクール教材の「りか1・2・3」も活用させていただいています。(Aさん)

5月23日に4人目の女の子(長女)が誕生しました。3人のお兄ちゃんたち(5歳、3歳、1歳)も可愛がってくれて、ますます騒がしい毎日です。名前はマルコ 12:29 より「唯(ゆい)」



と名付けました。「イエスは答えられた。一番たいせつなのはこれです。『イスラエルよ。聞け。われらの神である主は、唯一の主である』。また長男の頼基が来年度から小学校に上

がる年齢になるため、来年から本格的にホームスクールへの導きが開かれていくよう祈っているとところです。我が家はまだ共働きの現状。御心に叶った決断をしていけるように祈って下されば嬉しいです。(京都府 塚本望・しのぶ)

赤ちゃん、生まれました！ 女の子でした。6月8日(日)午後6時33分。名前は「美香(みか)」としました。引き続き、ソジョンと赤ちゃんの健康のためにお祈りください。(伊藤仁)



絵画コンクール受賞の大変嬉しい報告をありがとうございます。長女は舞い上がっています。ホームスクーラーとして、絵を出品する機会がなく、絵を描くことが大好きな長女には、よい機会だと思い、今回描くことを勧めてみました。白馬の会場で、すでに作品を見ていた長女は来年は自分も挑戦したいと思っていたようで、大喜びで作品に向かっていました。

その後、最近のチア・マガジンに載っていた昨年の絵画コンクールの作品を見て、「皆上手。私の絵は選ばれることないね」と落胆し、期待してなかったこともあり、余程嬉しかったと思います。余談ですが、ホームスクーラーの長女が幼少から参加している写生大会が、最近、開催され、今年は次女(初参加)とともに金賞を受賞することが出来ました。長女は、絵を描いたり、本を読んだりと静かに過ごすことが大好きです。絵の賜物を将来、神様の栄光のために輝かせてくれることを楽しみにしています。

白馬セミナーは今年も参加を計画しています。嬉しいことに今年から、フルの宣教師になった主人も参加出来ることになり、皆で、交わりの時を今から大変楽しみにしています。もっとチアのイベントに参加したいと願っていますが、経済的な理由や仕事の関係等でなかなか叶わないのが残念です。でも、今年も白馬セミナー大変楽しみにしています。そこで、長女と次女の絵が見られるのは大変な祝福です。2人のよい自信につながったと思い、感謝しています。私は、初め主人にホームスクーリングの話をされた時、大反対でした。今度だけは本当に譲れないと真剣に戦う姿勢でした。どうせ喧嘩するなら、その前に、ちょっと譲ってホームスクーリング事情を調べてみようと思ひ、ヒットしたのが「チア・にっぽん」でした。チア・マガジンを何冊か読むうちに、これはなんて素晴らしい働きなのだろうと主人の出した決定に素直に従うことにした経緯があります。今は夫婦で同じ考えのもとにホームスクーリング出来る恵みに大変感謝しています。(岐阜 ヴァンフェロー和美)

名作映画DVD(書籍)オーダーシート

⇒ FAX 03-6862-8648 メール office@cheajapan.com または郵送

◆ NEW「大草原の小さな家シーズン4」	5,122円()枚		
◆ NEW(巻頭言紹介)「42～世界を変えた男～」DVD・ブルーレイセット	4,093円()枚		
◆ NEW(巻頭言紹介)「チェンジリング」	1,543円()枚		
◆(巻頭言紹介)「96時間」	1,533円()枚		
◆「奇跡のリング」	5,076円()枚	◆「舟を編む」	4,104円()枚
◆「レ・ミゼラブル」(ミュージカル版)1,543円()枚		◆「レ・ミゼラブル」(ドラマ版)1,523円()枚	
◆廉価版登場!「ソウル・サーファー」1,543円()枚		◆書籍「ソウル・サーファー」	713円()冊
◆「スヌーピーの感謝祭」	2,160円()枚	◆「スヌーピーのメリークリスマス」	2,160円()枚
◆ドキュメント「ソウル・サーファーの心」(約2時間、各賞受賞多数。ポスター付)	2,625円→1,543円()枚		
◆「アメイジング・グレイス」	4,104円→特価3,588円()枚		
◆DVD「ファイアー・ストーム」+書籍「決断する愛」セット	4,104円()セット		
◆「カーズ」	1,944円()枚	◆「しあわせの隠れ場所」	1,543円()枚
◆「カールじいさんの空飛ぶ家」	1,944円()枚	◆「ノウイング」	4,104円()枚
◆「僕はラジオ」	1,523円()枚	◆「怪盗グルーの月泥棒」	1,543円()枚
◆「ライフ・イズ・ビューティフル」	1,543円()枚	◆「プリンス・オブ・エジプト」	1,944円()枚
◆「かみさまへのてがみ」	4,104円()枚	◆「ナルニア国物語3」	1,533円()枚
◆「大草原の小さな家シーズン1」	5,122円()枚	◆書籍「決断する愛」	1,728円()冊
◆「大草原の小さな家シーズン2」	5,122円()枚	◆「トゥルー・グリット」	1,543円()枚
◆「大草原の小さな家シーズン3」	5,122円()枚	◆「チェンジング レーン」	1,543円()枚
◆「スパイキッズ」	1,543円()枚	◆「グラン・トリノ」	1,543円()枚
◆「スパイキッズ2」	1,944円()枚	◆「グレイテスト・ゲーム」	1,543円()枚
◆「天地創造」	1,533円()枚	◆「塩狩峠」	3,218円()枚
◆「アイ・アム・レジェンド」	1,543円()枚	◆「ドリームズ・カム・トゥルー」	1,523円()枚
◆「サムソンとデリラ」	514円()枚	◆「十戒」	2,500円()枚
◆「若草物語」	514円()枚	◆「ザ・ウォーカー」	1,944円()枚
◆「偉大な生涯の物語」	2,046円()枚	◆「トゥルーマンショー」	1,543円()枚
◆「バグズライフ」	1,944円()枚	◆「素晴らしき哉、人生」	514円()枚
◆「ナルニア国物語 第1章」	1,944円()枚	◆「名犬ラッシー」	514円()枚
◆「炎のランナー」	1,533円()枚	◆「クオ・ヴァディス」	514円()枚
◆「フェイスング ザ ジャイアント」	1,533円()枚	◆「聖衣」	514円()枚
◆「サウンド オブ ミュージック」	1,533円()枚	◆「サイモン バーチ」	1,543円()枚
◆「パッション」	4,860円()枚	◆「剣と十字架」	2,046円()枚
◆「黄昏」	1,543円()枚	◆「ファインディング・ニモ」	1,944円()枚
◆「RV」	1,523円()枚	◆「Mr. インクレディブル」	1,944円()枚
◆「幸せのちから」	1,523円()枚	◆「ベン・ハー」	1,543円()枚
◆「奇跡の人」	1,944円()枚	◆「カーズ2」	4,104円()枚
◆「キング・オブ・キングス」	2,700円()枚		
合計		枚	円

(個人鑑賞用です)(価格はすべて税込)※5000円未満の注文、または遠隔地の場合、送料(実費)あり。※1万円以上のご購入の場合、代引発送となります。
※品切れの際は、少し発送にお時間を頂く可能性があります。また、製造中止の場合、廉価版完売等の場合もありますので、どうぞご了承下さい。

お名前	お電話番号
(〒)	
ご住所	

チア・にっぽん カレンダー

●チア・サマーキャンプ 2014

8月14日(木)～16日(土)

※LITメンバーは11日(月)～16日(土)

◆仙台・明泉学園

●チア・オリンピック 2014

9月15日(月・祝)

◆台東リバーサイドスポーツセンター
(東京都台東区)

●白馬セミナー 2014

11月20日(木)～22日(土)

◆ホテル・グリーンプラザ白馬(長野)

●チア・コンベンション 2015

・大阪 2015年6月5日(金)、6日(土)

・東京 2015年6月12日(金)、13日(土)

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P

定価：本体2,000円＋税

柏崎良子医師のマリア・クリニックにおける治療を、
症例、検査の意味と意義、治療法、
発達障害になる原因分析、
治療の手順など詳細に記載しています。



好評発売中

<本の内容>

- 序文. 発達障害や精神障害の治療を願って
- I. 発達障害から良くなった子供たち
 - II. どのように治療をするのか
 - A. 治療の枠組みと方法
 - B. 発達障害についての私たちの立場
 - C. 発達障害の治療への取り組み
 - D. 治療方法の説明
 - III. 治療に必要な知識や理論
 - A. 身体の形成と栄養の補給
 - B. 障害への対応の基礎知識
 - IV. 統計、よくある質問、索引
 - A. 発達障害検査統計
 - B. よくある質問

お問合せ：株式会社ヨーゼフ

Tel：043-207-6035 Fax：043-207-6036

メール：info@yozeph.com ホームページ：http://yozeph.com

【3月会計】

収入	
献金	942,167
書籍・教科書	74,277
会費	173,000
広告	47,619
DVD/CD、ビデオ等	39,139
その他	460,365
1,736,567	
支出	
事務局経費	992,964
通信運搬費	45,623
交通費	246,126
印刷費	249,937
DVD仕入費	12,479
DVDプロジェクト	5,067
集経費	107,800
1,659,996	
残高	76,571
前期繰越	38,118
翌期繰越	114,689

【4月会計】

収入	
献金	1,163,500
書籍・教科書	85,141
会費	119,200
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	52,294
その他	166,283
1,616,418	
支出	
事務局経費	1,118,591
通信運搬費	79,883
交通費	26,210
印刷費	286,143
DVD仕入費	35,279
出版プロジェクト	2,523
1,548,629	
残高	67,789
前期繰越	114,689
翌期繰越	182,478

☆尊い献金、会費の送金を、心から
感謝いたします。



CheaJapan

チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807 メール対応 FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com